大詔奉戴日

京城日報

朝刊　日本朝夕刊共六頁

盡忠無比・眞珠灣空の軍神

詔書

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝國天皇ハ昭ニ忠誠勇武ナル汝有衆ニ示ス

朕茲ニ米國及英國ニ對シテ戰ヲ宣ス朕カ陸海將兵ハ全力ヲ奮テ交戰ニ從事シ朕カ百僚有司ハ勵精職務ヲ奉行シ朕カ衆庶ハ各〻其ノ本分ヲ盡シ億兆一心國家ノ總力ヲ擧ケテ征戰ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコトヲ期セヨ

抑〻東亞ノ安定ヲ確保シ以テ世界ノ平和ニ寄與スルハ不顯ナル皇祖考不承ナル皇考ノ作述セル遠猷ニシテ朕カ拳々措カサル所而シテ列國トノ交誼ヲ篤クシ萬邦共榮ノ樂ヲ偕ニスルハ之亦帝國カ常ニ國交ノ要義ト爲ス所ナリ今ヤ不幸ニシテ米英兩國ト釁端ヲ開クニ至ル洵ニ已ムヲ得サルモノアリ豈朕カ志ナラムヤ中華民國政府曩ニ帝國ノ眞意ヲ解セス濫ニ事ヲ構ヘテ東亞ノ平和ヲ攪亂シ遂ニ帝國ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ茲ニ四年有餘ヲ經タリ幸ニ國民政府更新スルアリ帝國ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ相提攜スルニ至レルモ重慶ニ殘存スル政權ハ米英ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ牆ニ相鬩クヲ悛メス米英兩國ハ殘存政權ヲ支援シテ東亞ノ禍亂ヲ助長シ平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス剩ヘ與國ヲ誘ヒ帝國ノ周邊ニ於テ武備ヲ增強シテ我ニ挑戰シ更ニ帝國ノ平和的通商ニ有ラユル妨害ヲ與ヘ遂ニ經濟斷交ヲ敢テシ帝國ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ朕ハ政府ヲシテ事態ヲ平和ノ裡ニ回復セシメムトシ隱忍久シキニ彌リタルモ彼ハ毫モ交讓ノ精神ナク徒ニ時局ノ解決ヲ遷延セシメテ此ノ間却ツテ益〻經濟上軍事上ノ脅威ヲ增大シ以テ我ヲ屈從セシメムトス斯ノ如クニシテ推移セムカ東亞安定ニ關スル帝國積年ノ努力ハ悉ク水泡ニ歸シ帝國ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ事既ニ此ニ至ル帝國ハ今ヤ自存自衞ノ爲蹶然起ツテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ

皇祖皇宗ノ神靈上ニ在リ朕ハ汝有衆ノ忠誠勇武ニ信倚シ祖宗ノ遺業ヲ恢弘シ速ニ禍根ヲ芟除シテ東亞永遠ノ平和ヲ確立シ以テ帝國ノ光榮ヲ保全セムコトヲ期ス

御名御璽

昭和十六年十二月八日

畏くも上聞に達す

海鷲五十二勇士の偉業

【東京電話】海軍省公表(七月七日午後五時)昭和十六年十二月八日におけるハワイ海戰參加部隊に對し聯合艦隊司令長官より左の通り感狀を授與せられ右の旨上聞に達せられたり

感狀

ハワイ海戰參加部隊

昭和十六年十二月八日開戰劈頭長驅敵ハワイ軍港を奇襲し、その飛行機隊をもつて敵米國太平洋艦隊主力および所在航空兵力を猛撃して忽ちその大部を擊滅したるは、爾後の作戰に寄與するところ極めて大にしてその武勳顯著なりと認む、仍つてここに感狀を授與す

昭和十七年四月十五日

聯合艦隊司令長官　山本五十六

二階級特進の譽れ

【東京電話】われらが永劫に忘れ得ぬ昭和十六年十二月八日のハワイ海戰において長驅眞珠灣軍港を奇襲し、敵米國艦隊主力ならびに所在航空力のことごとくを覆滅したわが海軍航空部隊の武勳は當時の發表にも未だ歸還せざるもの飛行機二十九機とあつたごとくその壯烈無双の活躍を偲ばせたのであるが、七月七日の佳き日を期して海軍省ならびに各鎭守府からその偉勳海鷲の芳名と殊勳二階級特進の譽れのかずかずが發表された、眞珠灣頭に散華した二十九機の海鷲中武勳拔群で特に二階級を進められた勇士は牧野、飯田、鈴木三中佐以下の四十九勇士である、わが航空母艦から飛翔した海鷲は戰鬪機に艦上爆擊機あるひは雷擊機に身を委ねいづれも果敢なる任務遂行後敵艦あるひは敵機、敵格納庫と刺違へて壯絕きはまる自爆を遂げたのであつた、世界戰史に輝くハワイ海戰の戰果を回想すると

一、擊沈　戰艦五隻(カリフオルニヤ型一隻、メリーランド型一隻、アリゾナ型一隻、オクラホマ型一隻、ユタ型一隻)甲巡または乙巡二隻、給油船一隻

二、大破戰艦三隻(カリフオルニヤ型一隻、メリーランド型一隻、ネバタ型一隻)輕巡二隻、驅逐艦二隻

三、中破戰艦一隻(ネバタ型一隻)乙巡四隻

四、敵機擊墜破　銃爆擊により炎上四百五十機以上、擊墜十四機、格納庫十六棟炎上、二棟破壞

この大戰果は實に天翔ける海鷲とさきに發表された特殊潜航艇による特別攻擊隊九勇士の緊密な連絡戰鬪が齎した靈思無比の結晶である特別攻擊隊の勳にも比肩する海鷲勇士の偉功は畏くも上聞に達した、敵米國の侵略據點眞珠灣上空に從容と散つた若き靈は今日の榮譽にまた莞爾と微笑んだことであらう

【東京電話】海軍省公表(七月七日午後五時)ハワイ攻擊の參加部隊戰死者に對し昭和十六年十二月八日附特に二階級を進級せしめられたり

任海軍中佐(各通)

海軍大尉　牧野三郎
同　飯田房太
同　鈴木三守

牧野中佐　飯田中佐　鈴木中佐

巨大な火の玉　敵艦、格納庫に體當り

三中佐の戰鬪概況

【東京電話】眞珠灣上空に敵米國太平洋艦隊主力を屠つたのち壯烈な運命をともにした故牧野三郎、飯田房太、鈴木三守大尉は武勳顯著の故をもつて揃つて海軍中佐に進級しその名を永久に青史に刻むこととなつた、三中佐は揃ひも揃つて興亞の海鷲で上官の信賴厚く部下の敬慕を一身にあつめてゐた、三勇士は敵根據地眞珠灣の命下るや勇躍して戰鬪機隊、爆擊機隊、雷擊機隊の各隊長として部下を率ゐて敵上空に殺到、敵防禦砲火や敵戰の攻擊にさらされつゝも悠々とその任務を果し機とともに敵都上空に散華したのである、また三中佐の戰鬪精神の壯烈であつたことは平素から有名で、特に飯田中佐の如きはいまだに語り草であつた、以下は三勇士最期までの壯烈極まる戰鬪概要である

爆擊機隊々長　牧野中佐

第二次攻擊部隊の爆擊機隊々長の命をうけた牧野大尉は勇躍先陣を承つて猛烈に擊ち出す敵高射砲彈の渦の中に突入し敵艦上空を悠々攻擊進路に入つた、同機は必中彈諸共まつしぐらに敵艦目掛けて急降下爆擊を敢行した『命中』敵艦上からは忽ち濛々たる火焰がまき起つたが、牧野機もまたその勇姿を紅蓮の焰の中に吸ひ込まれて行つた、敵戰艦に必殺の爆擊を行ふと同時に敵彈を受けた牧野大尉は己れの爆彈が炸裂するのを見屆けたのち巨大な火の玉となつて目指す敵艦上に壯烈な自爆を遂げたのである、同大尉は年齡卅有一歲であつた

戰鬪機隊々長　飯田中佐

第二次攻擊部隊の戰鬪機隊々長として率先ハワイ軍港上空に殺到したが、敵機の挑戰するものなく同大尉は機首を東方に轉じてオアフ島東岸のカネオへ海軍飛行場に出擊した、この飛行場には大型飛行艇十數臺が格納庫から引出されたままの姿で並んでゐた、飯田隊は地上すれすれに舞下りて果敢な攻擊にうつりこれを炎上せしめ十五分間銃擊ののちカネオへ南東十キロのベロオス飛行場を數回銃擊して再びカネオへに引き返したとき、敵砲火熾烈を極めてその一彈が不幸隊長機のガソリンタンクを射ち拔いた、しかしこの時すでに敵飛行艇群を悉く炎上せしめてゐたので飯田大尉は飛行場上空に集結を命じたのち機上で任務完了の合圖を部下に交した、手を振りながら隊長機は殆ど垂直の姿勢で敵格納庫に突込み、飯田大尉は二十九年の榮えある生涯をとぢた

雷擊機隊々長　鈴木中佐

鈴木大尉は弱冠廿七歲の身で晴れの第一次攻擊部隊雷擊機隊々長を命ぜられ敵艦上空に突き進んだ、敵艦必殺の魚雷を放つ順番が鈴木大尉に廻つて來るころには狂氣の如く擊ち出す敵防禦砲火が狹い軍港上空の雷擊隊攻擊の進路を目掛けて雨霰と集中して、先頭の鈴木機は早くも敵彈を受け機體からガソリンを漏洩し出したが、鈴木大尉は不安定な機を巧に操つて入神の技をもつて一發必滅の魚雷を發射したと同時に鈴木機は機體もろとも敵艦に體當りし鬼神も哭く壯烈な最期を遂げた、その頃鈴木大尉の放つた魚雷もまた敵艦艦側に轟然と炸裂し忽ち上る水柱はさながら鈴木大尉の英靈昇天を示すが如く天空に沖してゐるのが友軍機から確認された

海鷲部隊の眞珠灣強襲　松添畫伯想像畫＝海軍省許可濟第五七一號

三中佐の略歷

【東京電話】ハワイ攻擊に散華した海軍空の勇士三中佐の略歷次の如し

海軍中佐　牧野三郎

明治四十四年一月七日生れで本籍は名古屋市西區稻生町二〇九現住所愛知縣海部郡津島町中島に遺族妻節子さんと令兄一雄氏がある、昭和四年四月一日海軍兵學校入校同七年十一月十九日海兵卒、少尉候補生となり磐手乘組、同八年七月十七日鳥海乘組、九年三月三十一日海軍少尉に任官して長鯨乘組となり同十年十一月十五日海軍中尉、同十二年十一月十五日蒼龍乘組、十三年六月七日大尉に昇進、加賀分隊長となり同年十二月鈴鹿航空隊分隊長となる

海軍中佐　飯田房太

大正二年二月十二日生れ、本籍は山口縣都濃郡富田町四三六二で遺族には母堂すてさん、祖母いまさんが本籍地にある、昭和六年四月一日海軍兵學校入校、同九年十一月十七日海兵卒、少尉候補生として淺間乘組、同十年四月一日海軍少尉に任官、那珂乘組、同十二年十二月一日海軍中尉に進級、同十三年六月廿三日妙高乘組、同年十二月八日蒼龍乘組、同十四年八月一日霞ケ浦海軍航空隊附兼筑波海軍航空隊敎官、同年十一月十五日海軍大尉

海軍中佐　鈴木三守

大正四年一月一日生れ本籍宮城縣登米郡石森町石森二〇〇で現住所石森町新町に遺族として妻男子さん、父養太郎氏及び母堂つやさんがある、昭和八年四月一日海軍兵學校に入校、同十二年三月廿三日海兵卒、少尉候補生となり磐手乘組、同十二年十一月五日神通乘組、同十三年三月十日海軍少尉に任官、同十四年六月一日海軍中尉、同年八月十日大村海軍航空隊附となり同十六年五月十五日海軍大尉となつたものである

勝拔く覺悟更に新　けふ第七回大詔奉戴日

けふ八日は七度迎へる大詔奉戴日――絵〻支那事變記念日の七日に續つゞきその意義は一入深いものがある、半島二千四百萬の民草はこの日改めて御詔書を拜し大東亞戰爭下最後まで勝ち拔くの決意を新たにしなければならぬ、と同時に、北は酷寒アリユーシヤン群島、南は炎熱印度洋の果に、戰を敎つて戰ふ皇軍將士の勞苦に思ひをはせて、感謝の祈りを捧ぐべきである、國民總力朝鮮聯盟ではこの大詔奉戴日に當り、國語常用、感謝不敬の徹底、スパイ防止の三項を申合事項とし、全鮮一齊に地域、職域の常會を開く、なほこの朝小磯總督は聯盟總裁の資格にて、京城放送臺よりマイクを通じ全鮮の愛國班常會に呼びかけ『皇國決戰に挺身せよ』と題して道義日本の建設を强調する

地方長官異動

【東京電話】内務省では島田愛媛、服部高知、山内山形、高野山梨の四縣知事以下の地方長官ならびに地方部長級の異動を七日の定例閣議に附議し正式決定後裁可を仰ぎ同日左の通り發令した

任奈良縣知事(二等)　厚生書記官(會計課長)　堀田健男

任山梨縣知事(二等)　大阪府書記官(總務)　多湖實夫

臺灣總督府警務局長　荒木美夫

任福島縣知事(二等)　福島縣部長(警察)　齋藤亮

任山形縣知事(二等)　情報局情報官兼内務事務官　福本柳一

任愛媛縣知事(二等)　岡山縣書記官(總務)　沖野悟

任高知縣知事(二等)　情報局情報官　橋本政實

兼任内務事務官(二等)　内務書記官(企畫課長)　西廣忠雄

任警視廳部長(二等)補警務部長　北海道部長(警察)　泉守紀

陞敍高等官一等補總務部長　内務書記官(振興課長)　岡本茂

任大阪府書記官(二等)補總務部長　高知縣書記官(總務)長　岡田包義

任福岡縣書記官(二等)補總務部長　厚生書記官(生活課長)　中島賢藏

任内務書記官(三等)補行政課長　山口縣書記官(經濟)　山郡祐一

任内務書記官(三等)補振興課長　山縣書記官(警察)和歌　大野連治

任内務省監査官(三等)補地方局勤務　内務書記官(文書兼行政課長)　齋藤昇

免兼行政課長

任内務書記官(三等)補外事課長　警視廳部長(特高)　宮田笑内

補經濟保安課長　内務書記官(警備課長)　光村隆

免兼外事課長　内務事務官(保安兼外事課長)　今井久

補警備課長兼務　内務書記官(警務課長)　久山秀雄

任内務書記官(三等)補河川課長　福島縣書記官(警察)　鈴木幹雄

免兼河川課長　内務書記官　宇佐美毅

補企畫兼整備課長　内務書記官(整備課長)　物部薰郞

補調査課長兼務　神祇院書記官(指導課長)　大塚兼紀

任警視廳官房主事(三等)　埼玉縣書記官(警察)　青木貞雄

任警視廳部長(三等)補特高部長　警視廳官房主事　赤羽穰

任警視廳部長(三等)補刑事部長　福井縣書記官(警察)　小川喜一

任警視廳部長(三等)補經濟警察部長　栃木縣書記官(警察)　田中榮一

陸軍辭令(七日附)

【東京電話】

兼補滿洲國在勤帝國大使館附武官補佐官　陸軍少佐　井上忠男

免兼滿洲國在勤帝國大使館附武官補佐官　陸軍中佐　西原征夫

依願免本官(各通)　馬縣書記官(總務)群　酒井榮吉

社說　英性格の悲劇

一

運命のエジプト……スエズ運河の失陷は地中海の喪失であり、歐洲大戰の一段落でもあれば、英の敗退を決定づけるものと見ねばなるまい。それにしてもスエズ運河史に刻まれた英謀略の跡を檢討して、アングロ・サクソンのよくも世界の運命を顚倒した厚顔その功を誇するのに感心し、驚歎せざるを得ない。だが信義のない謀略には永遠の生命のあらう筈がない。いまや地球の到るところに、米と共に英とは壓迫の苦杯を喫してゐるのはもとより當然のことといはれよう。

二

スエズ運河は佛の天才と企業とによつて竣成したのだが、繼いで英帝國ルートに依存してゐた英は運河の計畫を聞くと猛烈に反對し妨害したものだ。そして途中事業の好轉と自國の印度その他東亞との連絡の便を考へるに及んで掌を返すやうに株を手に入れ始めた。借財に惱むエジプト王を脅迫して運河株の大半を買占め、佛を排除して運河管理の實權を握つてしまつた。エジプト國民主義が蹶起して英勢力の排除工作をはじめ、一八八二年アレキサンドリヤに暴動勃發、歐洲人五十餘名が虐殺されるや英は機會至れりとばかり直ちに軍隊を上陸せしめて、エジプトを占領したものである。そして第一次歐洲大戰勃發と同時にエジプトの保護國を宣言、一九二二年のカイロ條約によつても解放し切れず、一九三六年の英埃交涉によつて漸々ながらその獨立を認めるに至つたものである。といふのも當時急速に勢力を強めて來たイタリーへの對抗上、御機嫌とりに狩り出さざるを得ない立場におかれたゝめである。

三

かうしたエジプトから後退せねばならぬところにその苦惱は察せられる。いまや樞軸國軍のために東に西に壓迫せられて支離滅裂の狀態は英の沒落の近きを感ぜしめるものであるが、謀略と搾取に終始したアングロ・サクソンにとつては當然の運命である。然し老猾その比を見ない老英國のことであるから、謀略の手を決して弛めてはならない。曾てはノルウエーに、フランドルの野に、またギリシヤ半島に同じ陣營の仲間を見殺しにして恥を忘れた徒輩のことであるから、最後の足掻きにおいて何をし出かすか分らないのである。西亞の諸國、殊に印度に反英の機運が濃化して來たのも、もとよりのことであらう。恐らく重慶と雖もそのことを覺えぬ筈はあるまい。蔣最近の感懷を聞きたいものである。

内相内務三役協議

【東京電話】湯澤内相は七日午前十時よりの定例閣議に先立ち同九時首相官邸に山崎次官、吉永警視總監、三好警保局長を招致し協議

北居南面

大東亞戰爭劈頭の壯擧に世界を驚倒せしめたハワイ眞珠灣の急襲大戰果は永遠不朽のものである▲特に感銘の深いのは我々の海軍當局が豫想もしなかつた特殊潜航艇の驚異的活躍である▲歸還せざる九勇士、我々はかくも深遠にして、崇高なる殉忠の精神を未だ曾つて目にすることすらしなかつた▲それが嚴然たる事實として現はれた時我々は唯頭が下がる思ひをしたのは今も變りはない▲しかしこの光榮ある大戰果、この勇敢なる特殊潜航艇の奮戰の陰に我が航空部隊の獻身的協力があつたのを忘れてはなるまい▲近代戰は完全に立體戰であり、作戰のみからしても綜合作戰でなければならぬ▲その綜合立體戰の妙を我々は大東亞戰爭いくつかの作戰に見たのであるが▲ハワイ海戰のそれは正にその最高峰であらう▲驚天動地の怒濤を衝いた航空部隊の出擊そのものがすでに悲壯である▲そしてこの作戰は空と海の協力作戰ではあるが▲海の部隊は海面にあるのでなくて、海中にあつたのだ▲それだけでも航空部隊苦心の活躍が偲ばれる▲我我はその空の勇士にも深甚の敬意と謝意を表さねばなるまい

＝人＝

◇入見次郎氏(朝鮮無煙炭會長)入城中十三日歸東

◇加藤五十造氏(同常務)元山へ出張中八日歸城

◇北野退造氏(油肥聯理事長)東上中廿日頃歸城豫定

◇今井賴次郎氏(西鮮社長)十日入城、十三日發東上の豫定

泰國、國民政府を承認す

【バンコック特電】(六日發) 大東亞戰下盟邦日本と攻守同盟の契りも深き米英擊滅に邁進しつゝある泰國政府は支那事變第五周年記念日の七日午前十一時(泰時間)ピチット外務大臣より褚民誼外交部長にあて、通電を以て汪精衞氏を首班とする南京國民政府を正式承認、重慶政權を相手にせぬとの態度を明かにした

搖ぎなし東亞共榮圏の前途

樞軸陣營の團結益々强固

【東京電話】タイ國政府の中華民國政府承認に對し外務省では七日午後四時左の如き外務當局談を發表した

外務當局談

タイ國政府は支那事變五周年記念日に當り本七日中華民國政府を正式承認せるが右は大東亞新秩序建設の理念に對するタイ國の深き理解と國民政府の堅實なる發展に基けるものとして洵に機宜を得たる處理といふべく、帝國政府としても大東亞の諸國團結の見地より慶祝に堪へない次第である、タイ國政府今回の處置を契機としひとりタイ國、中華民國間の國交のみならず、廣く大東亞共榮圏内のいよ〳〵鞏固となるべきことは帝國政府の信じて疑はざるところである

【上】ピチット泰國外相 【下】褚國府外交部長

泰國政府發表

【バンコック七日同盟】泰國政府は中華民國國民政府の正式承認に當り七日左の聲明の發表を行つた

泰國政府は强固なる東亞を建設しならびにアジヤ諸民族をして一心同體協力一致將來の安寧と平和とを成就せんことを希求し、その重要なる一員たらんとする熱烈なる希望を有するにより中華民國々民政府を承認するを適當と認め、外務大臣をして中華民國々民政府外交部長褚民誼閣下に對し佛暦二千四百八十五年七月七日附をもつて左記電報を發したり

泰支兩國民はすでに久しきにわたり相互に緊密なる關係を維持し來り、また泰國はアジヤの幸福と繁榮の實現に協力し來れるをもつてアジヤ諸國民の精神的一致團結を希望せるものなり、今般泰國政府は中華民國政府を承認するに決定したるは右の理由に基くものにして本大臣はここに閣下に對し右承認の通告をなすの光榮を有するを欣快とするものなり右通告を勞々本大臣は閣下に對し敬意を表す

佛暦二四八五年七月七日　泰王國政府外務大臣　ピチット・ワタカーン

なほ七日中華民國々民政府外交部長より通電に接したり、よつて泰國政府は泰國民ならびに泰國在留中國人が兄弟の如く協力、該兩國の友交關係を保持し兩國の永久的平和と繁榮の建設に努力協心すべきことを希望する

國府の地位さらに强化

重慶、アジヤより見放さる

【東京電話】昨年八月五日友邦獨伊兩國を承認してその國策の方向を明示した泰國は大東亞戰爭勃發するや從來の一切の行掛りを清算し、欣然として共同の敵米英に宣戰したが、記念すべき支那事變五周年の記念日の七月七日汪主席のもとに大東亞新秩序の建設を闘ひつゝある中華民國々民政府を承認する旨正式に通告した

國の國民政府はもちろん大東亞諸民族の等しく慶賀すべく同時に泰國の二大盟邦泰國と國民政府との間に正式外交關係が樹立されたことは大東亞共榮圏の搖ぎなき前途を示唆すると共に樞軸陣營の團結のますます固き證だとして重視さるべきことである

一昨年十一月卅日南京國府大禮堂における帝國同盟全權と汪行政院長との間に行はれた劃期的日華條約調印により國民政府は帝國政府の正式承認するところとなり、國民政府はこゝに國家としての歴史的一歩を踏み出したのであるが、滿洲國も帝國と同時に日滿華三國宣言に調印滿華相互承認を行つたのである、その後の國民政府の成長に關しては世界各國の注目するところであつたが昭和十六年七月一日歐州の盟邦獨伊兩國は率先して南京政府を中華民國唯一の正統政府として正式承認しついで同日ルーマニヤ、スロバキヤ、クロアチヤ三國政府も國民政府を承認した、この趨勢を見て歐州樞軸各國もこれに歩調を合せスペイン政府を初め、ハンガリー、ブルガリヤがそれ〳〵汪主席あて國府承認を通告して來たのである、次いで八月十八日デンマーク外相が褚外交部長に正式承認を通告しこゝに歐州における獨伊など九ケ國の盟邦を獲得し、今回の泰國を加へて計十二ケ國の承認を得たことになる、かくて大東亞戰爭勃發以來世界的國家としての國民政府は陰に陽に帝國の征戰に協力して來た記念すべきこの日に東亞の盟邦泰國の承認を得た國民政府の自信と歡喜は蓋し想像にあまりあるがこのことは(重慶よりもつてアジヤを裏切つた重慶政權の一地方政權への轉落を)端的に立證するものでアジヤ諸國家より見放された蔣政權の辿るべき途は崩壊以外にはあるまい

友好關係愈よ親密

褚民誼外交部長談話

【南京七日同盟】泰國の國府承認に關する褚民誼外交部長は七日左の談話を發表した

今回國民政府が泰國より正式に承認せられたのは眞に欣幸とするところである、中國と泰國とは久しく親密なる歴史的關係を有しかつ國境も近接し情誼輔車の關係にあつたにもかゝはらず今日に至るまでいまだかつて正式に國交を開くに至らなかつたが、今回の泰國の國府承認により兩國々交が初めて開始せられたのは眞に劃史的事實といふべきで、今後兩國關係はいよ〳〵親密となるべきは明瞭である、わがアジヤ民族は永く英米勢力の壓迫をうけ當然親密に提携すべき兩國が今日まで正式に國交を開き得なかつたのも英米勢力の離間工作により阻害せられた結果であつて實に痛恨に堪へない、いまや東亞における英米の勢力は友邦日本により徹底的に掃蕩せられ、中泰國交の樹立を阻害する何物も存在し得なくなつたとは洵に欣快に堪へない、泰國のわが國府承認はたゞに中泰國交に一新紀元を劃するものなるのみならず大東亞共榮圏および新秩序建設上に重大意義を有するものである

更に友情を深めん

臟議長招待晩餐會

小磯總督挨拶

臟式毅衆議院議長を迎へて小磯總督は七日午後六時から慶武台官邸に臟議長一行招待晩餐會を開いた小磯總督、田中總監をはじめ總督府各局部長、官房課長等七十餘名出席、開會間もなく小磯總督は一行を迎へる辭を別項の如く述べれば臟議長これに對し別項の通り答辭を述べ、職域の契をいよ〳〵深めて宴は同八時すぎ散會した

小磯總督挨拶

本夕は臟式毅閣下の御訪鮮に對し聊か御一行の御旅情を慰めたき趣旨を以てこの粗席を設け御招請申上げましたる所、御一行には御疲勞中にも不拘御貴臨の榮を賜り主人として感謝に堪へざる所でございます、茲に御挨拶の序を以て朝鮮統治に關する若干の點に就き些か御話し申上げ御參考に資したいと存じます

既に御存知の如く朝鮮統治の根本方針は、明治四十三年韓國併合の際に下し賜はりました明治天皇の勅語の御趣旨と、大正八年官制改正の際に、大正天皇の賜はりました『一視同仁』の聖詔を奉體致しまして歴代總督何れもこの聖旨を畏みて統理の任に當つて參つたのでありまして統治の大方針は確固不動のものと相成つてゐるのであります、申すまでもなく日本皇室が斯域同胞に對して一視同仁と宣はせられますことは、從來の內地國民との間に秋毫の差異を設けず等しく休明の澤を享けしむるといふ鴻大なる御思召でありまして、內鮮官民齊しく感激して聖旨に副ひ奉るべく努力を累ね來つた次第であります

併しながら、內鮮または內鮮人の間に存するいろ〳〵の差別を取除くといふことは、まづそれに先立つて差別を取除き得る狀態を作り出すことから始めなければなりません、即ち朝鮮同胞が眞に皇國臣民になりきることが先決の問題であります、されば こそ併合以來歴代總督は皇民教育を擴め、產業を興し、同胞の生活水準を高むると共にその資質を日本臣民として內地人と遜色なき狀態にするため非常なる努力を傾倒致したのであります、それは閣下並に各位が今日の朝鮮の山を御覧になれば お解りになります樣に、李朝時代の秕政下に於て殆ど赤土の禿山となつて居たものを今日の如く青くするためには實に營々卅餘年の倦まざる努力を必要と致したのであります、之と同樣なる努力が行政の各部門に注がれました結果朝鮮の人心も、生活も次第に變化し、次第に向上して、漸く今日の域に達したのであります

斯樣な動向の下に朝鮮に於ては逐年諸制度の改善を見、かくして內鮮の間に殘存する諸差別が逐次除去せられゆく道程となりましたが、更に明後昭和十九年度より朝鮮同胞に對し徴兵制度を實施するといふ最も劃期的なる方針が決定致し洵に喜ばしき向上發展が特に人心の領野に進められて參つたのであります、尤も朝鮮におけるすべてのものはなほ未だ發達の中道にありますので內鮮一體の最後的理想境に到達する迄には相當の距離を餘してゐるのであります然し私と致しましては聖旨を奉體し歴代總督の遺業を繼ぎ大東亞戰下における國民的責貫の鍊成に微力を捧げ前述理想境到達を一日でも早からしめたき決意を持つてゐる次第であります

特に滿洲帝國創建せられ日滿の道義關係を基礎とする兩國の大綱綸が東亞の天地に姿を現はしまするや、その雄大なる理想に鼓舞せられて朝鮮の人心も亦勃然として興起し、曾ての小乘的民族意識は大乘的國民意識と變じ、更に支那事變を迎へて以後、殆ど內地の同胞に譲らないほどの强烈なる愛國的動向が起るに至りましたことは恐らく閣下並に各位の耳目に新たなる所であらうと存ずるのであります

滿洲國には既に百四十萬を超ゆる朝鮮同胞が御厄介になつてをり、今後もまた開拓農民等御世話になる者の數が增加致すであらうと存じます、昨日も申述べました如く、鮮滿の深き地緣關係は經濟、文化等の諸交渉に於て益々紐帶を鞏くすべき共同の將來を有するのでありまして、特に大東亞共榮圏の建設に對する北方の重要性を稍へ相倚り相援け協同して處理すべき問題を幾多前途に有するのであります、私共と致しましては、此の大機運下に於て鮮滿相互の認識と友情とを彌が上にも向上し、之に基づいて緊密提携の度を深め行くことを祈念してやまないのであります

臟議長の謝辭

今回我々の京城訪問の目的は恰かも本年は我國建國十周年に當りますので總督閣下を初め官民閣下各位の今日まで賜はりました格別なる御支援に對し深甚なる謝意を表するとともに今後尚一層の御援助を御願ひ申上げる次第であります

茲に建國十周年を迎へまして今日の隆盛をみるに至りました過程を顧みまするに、總督閣下におかせられましては我國建國直後より關東軍參謀長として御來滿せられ、建國創業には最も深き關係を有せらるることは今更申上ぐる要もなきことと存じますが、これ偏に親邦大日本帝國の絶對無限の御支援と隣接地たる朝鮮官民の非常なる御厚意に負ふ所多いのであります

即ち歴代總督閣下を初め官民閣下各位が滿洲國を充分に御理解あり、東亞共榮圏確立の根幹とも申すべき我滿洲國の發展に對し日滿不可分關係の國是に基く滿鮮一如の親節を十二分に體得せられ非常にこれが强化助成に御努力せられました賜なりと信じ、誠に感謝に堪へない次第であります

今や親邦大日本帝國を中心としての大東亞戰爭は正に本格的段階に入り皇軍が赫々たる戰果をあげられつゝあるは誠に欣快の至りでありまして我々は親邦の無限の國力に對し絶對の信頼を感ずると共に其任務たるや益々その重要性を加ふるに至りたるを痛感し我國家の總力をあげてこの天業を扶翼せねばならぬと覺悟致しをる次第であります、何卒今後共一層の御援助をお願ひする次第であります

浹らす感歎の言葉

志願兵訓練所を視察

臟議長一行は七日一夜を朝鮮ホテルに明かした臟議長滿洲國參議府副議長臟式毅氏は七日滿洲國協和會以下各隨員を隨行して龍山陸軍病院に傷病將兵を慰問し總督府外務部長を案內役として傷病兵を見舞つた後午後一時三十分高陽郡崇仁面の陸軍兵志願者訓練所を訪れ職員、生徒の正門に整列して歡迎する中を訓練所長の案內で一巡、ついで一まづ貴賓室で休憩、森本教官から訓練所の說明をうけ海田所長の案內で一巡教室から教練に出かけた後の寢室で第五中隊の隊舍で『ここは起居を共にするところです、各室が狹いから休む時は、この机を廊下に出してやすみます』との海田所長の說明にきゝ入る、臟議長は『よく整頓が出來てゐますね』と感嘆の言葉を洩す、次で生徒の野外教練、土工作業等志願兵制度實施に感謝する年齡青年の眞摯な教練振りを熱心に見學し同二時卅分訓練所を後にした

寫眞=(上)小磯總督の招待晩餐會(下)志願兵訓練所視察の臟議長一行

ボロネージュを占領

【ベルリン七日同盟】ドイツ軍司令部はドイツ軍がドン河を渡河して七日遂にボロネージュを占領した旨同日正式に發表した

要衝樟樹鎮を攻略

五十八軍の潰滅近し

【江西省前線七日同盟】贛江東岸に敵第五十八軍の剿滅戰を開始せるわが軍は六日午後六時遂に同軍司令部所在の地樟樹鎮を攻略、贛江輸送の渡河點を押へたうへ同地東方の山地帶に主力二萬の敵を捕捉、七日朝來荒鷲の協力下に凄絶なる殲滅戰を展開中である、なほこの山野から敵影が沒するわけでさきの第七十九、第四軍の潰滅につゞきその戰果は莫大なるものと豫想される

百トン級八十隻

本年度計畫造船決る

鮮內機帆船の計畫造船實行に當つて六日これが具體案決定のため企畫部、遞信局、その他關係局部が參集、船型の規格と造船設備の整備案大綱を決した、すなはち十七年度計畫造船數は百トン級最大七十五馬力、時速七浬、八十隻これが設計細目案については十五日ごろ技術委員會を開き決定するが本月內に發註し八月早々にはキールすることとなつた、これが發註形態は

一、朝鮮が運營會社案(內地との折衝を要す)が實現するまで代行して一括發註し朝鮮造船工聯に共同引受をなさしめる

一、同聯は傘下五組合に割當船價は協定價格によらしめる、出來上りは朝鮮が代行引受けて運營會社に肩替りする

一、造船に當つては直接現場につき造船聯、遞信局が監督してゆく

一、これに對應する造船所整備案は造船聯加盟業者のみを對象とし、アウトサイダーは除外し、逐次組合員に統合吸收することとする、造船聯加盟業者百九十二名(中法人十一社)は一港一社程度に統合させる、年內には六十業者程度が目標とみられる

一、造機部門について能力は別として技術の點に劣弱が指摘されるが、これは鮮內造船能力の向上技術、設備の合理化を必要とすること

一、コストの低減等のため鮮內造機業者において當らせる、そのためには前述の如く引受形式と直接監督制によつて從來の如き下請制は排除することとし、全て組合傘下の造機業に當らせることとなつた

これにより造船業は根本的に再編成をみるのである

形式に流れるな

きのふ指導委員會

小磯總督の發言

小磯總裁、田中副總裁を迎へての第四十六回國民總力運動指導委員會は七日正午から總督府第三會議室で全委員出席の上開催、附議事項に入るに先だち田中副總裁から總力運動を强化するためには果して現在のまゝでいゝかどうかこれに付ては、過般の聯盟理事會で總裁からも幾多檢討を要すべきものあることを言明されてゐるので本日は各要員から十分意見を述べて貰ひそれによつて善處して行きたい旨の簡潔な挨拶があつてのち提案事項の審議に入り倘原動任事務官から來る九月、十月の二ケ月間に亙つて展開される戰時鑛山增產强調運動について說明報告があり、これに對し小磯總裁、田中副總裁、丹下總務局長、松本海軍御用掛からそれ〴〵具體策につき質問が行はれた、次いで烏川聯盟理事から報告の委員解職の件を可決付し引續き八月の實踐事項報告その他乾草增產運動、防諜週間、海の記念日などの各行事についても報告が行はれ終始緊張のうちに熱心な質疑應答があつて最後に小磯總裁から「總力運動は上滑りであつてはいけない、飽までも現實に即して行はれねばならぬ」とも注意があり同二時散會した

陸軍司政長官

宮野氏以下十五氏

【東京電話】陸軍では七日元埼玉縣知事宮野省三氏以下地方官十五氏を陸軍司政長官に任命左の如く發表した、その內譯は元地方長官二名、現長官四名、現地方部長八名ならびに東京市理事一名となつてゐる

陸軍省發表(七日)=本日左の如く發令せられたり

任陸軍司政長官(二) (各通)	
元埼玉縣知事	宮野 省三
富山縣知事	矢野 兼三
山梨縣知事	高野 源進
山形縣知事	山內 繼喜
愛媛縣知事	畠田 昌福
高知縣知事	服部 直彰
北海道總務部長	武政 隆一
東京市電氣局交通調整部長	中屋 重治
神奈川縣經濟部長	渡邊 廣
三重縣總務部長	岩重 隆治
秋田縣總務部長	山本 義章
新潟縣警察部長	中村 元治
兵庫縣警察部長	竹谷 源太郎
內務省監督官陸軍少尉	關外 余男

任陸軍司政長官(二) (各通)	
厚生省人口局總務課長主計少尉	床次 德二

蹴球指導者

錬成會擧行

十日から三日間

朝鮮體育振興會では蹴球指導者鍊成會を十日から三日間、京城竹添町金剛組合總合宿舍に合宿のうへ擧行、戰時下皇民鍊成を基調とする體育指導理念の確立と蹴球を伴ふ蹴球道の指導者鍊成をはかることゝなつたが、鍊成會には全鮮各道から幹事三名宛て(事務、競技及び蹴球關係者)卅九名、それに朝鮮蹴球協會役員十七名、指導者十名計六十六名が參集して蹴球の眞の精神的面強化につとめる、鍊成行事日程と講師陣は左の通り

▲日程◇九日午後三時合宿所に集結◇十日午前八時朝鮮神宮大前に結成式を擧行後講習、蹴球實地訓練◇十一、十二兩日講習、實地訓練(十二日午後解散式)

▲講師◇國民體育の本義、石田千太郎(厚生局長)◇半島體育指導方針、岡久雄(厚生局保健課長)◇國民體育法、狹間正從(厚生局技師)◇體力章檢定、山本憲吉(朝鮮體育振興會理事)◇各種體育實施指導、西部慶明(朝振主事)◇科學と體育、今村豊(城大教授)◇日本學に就いて、細貫大直(朝鮮神宮々司)◇半島蹴球鍊成の指導、金容演(朝鮮體育振興會蹴球部長)◇蹴球實地指導(事務部面)金和集(審判部面)金成玕(競技部面)日高秀吉、金容植、數宗錫、森山一郎

普專・延專卒

業生籠球試合

十一・十二兩日

全鮮に籠球王國の名を誇る普專、延專兩校の卒業生からなる籠球對抗試合が十一、二兩日(午後五時)京城安國町徽文小學校球場で行はれる、兩軍の陣容左の通り

(延專・普專 選手陣容 [illegible])

薪炭打合會

總督府林政課では今冬の薪炭確保を期するため七月中旬各道の擔當係官を招致、各道割當量の供出ならびに輸送方法につき打合會を開く

農機具直接

取引折衝

石井技師內地へ

內地產農機具の入手は從來內地農機具會社の手を通じ移入されてゐた爲とかく敏速を缺ぐばかりでなく種々の支障があり食糧增產計畫の圓滑な遂行が期し難いので今後內地メーカーとの直接取引を行ひたき意向の下に總督府農林局ではこのほど石井技師を內地に派し直接取引につき折衝を行ふことゝなつた

道義朝鮮首途の日だ

『皇運扶翼の道』 小磯總裁、全愛國班員へ放送

けふ大詔奉戴日

小磯總裁

輝く支那事變五周年記念日も一億の感激と新しい覺悟のもとに送り、八日還しく迎へる第七回大詔奉戴日は小磯新總裁、田中新副總裁を迎へて全鮮二千四百萬愛國班員の決意と感激は一入深く、躍進半島の底力をぐんと伸し建設の巨歩を踏み出す道義朝鮮の首途の日だ、此希望に燃える意義深き日に小磯大將は聯盟總裁の資格で午前六時卅分總督官邸應接間で特設のマイクに起ち全鮮班員に向ひ『皇運扶翼に挺身せよ』と題してラジオ放送を行ひ雄渾なる吾が新日本建設の大道を諄々と說き、大東亞共榮圏の强力な一翼―半島の使命と道義朝鮮の確立を電波を通じ全鮮二千四百萬愛國班員へ呼びかけ銃後半島に建設的新しい構想と神道日本の理念把握を强調することになつた、小磯總裁の放送は初めてだけに全鮮愛國班員は〝われらの總裁〟の聲を心から待ちこがれてゐる

國語を知らぬ面長 驚く勿れ六十七名

鈴川司政局長の報告

司政局では全鮮の邑面長の二千三百廿六名の國語理解程度を極秘に調査中であつたが、七日の局長會議席上で鈴川司政局長から次の通り報告された、調査によると邑長はまづ無難で全部國語を解する、次に問題の面長は國語を解せざる者六十七名、事務上差支へなき程度に解する者二百卅二名、充分解する者一千九百廿七名、國語を一語もしやべれない面長六十七名の存在がよくも今日まで許容されて來たものだと驚かされる、この邑面長の經歷を調べてみると專門學校以上の卒業者六十三名、同中等學校以上四百廿九名、初等學校以上一千二百四十七名その他は地方の書堂や塾で漢文を學んだものとなつてゐる、また邑面長の經歷としては吏員からの者五割、官吏からの者二割七分その他となつてゐるが司政局ではこの數字に基いて最も民衆と接觸度の濃い邑面長の再訓練について研究を進めること

安島、黑山島無電開始

遞信局では安島、黑山島附近一帶がいよ〳〵待望の漁期に入つたので、同地にそれ〴〵臨時無線電信施設を設け、內國及び東亞和文電報の受付及び交付など一般電信業務の取扱を開始、半島水產資源の生產助成に乘出すことになつた

▲施設場所、全羅南道麗水郡南面安島郵便局、同務安郡黑山面黑山島郵便局▲期間、安島、自七月八日至九月下旬、黑山島自七月十日至九月下旬

このチエッコめ

義憤新た事變記念展

五年目にまためぐつて來た支那事變の記念日を再び勃發當初の感激に與さうといふ意想の下に本社主催、陸軍省並に朝鮮軍報道部後援の『支那事變記念日展覽會』は四日から九日間京城三越の四階ホールで開かれ、府民の人氣を集めてゐる

北京の城門を象つた模型の會場入口を潜ればまづ目に映るものは陸の荒鷲が抱いて飛んだ千キロ、五百キロ、百キロ、五十キロの大中爆彈だ『ウワツ、これはお父ちゃんの三倍あるぞ』父に連れられた少年の觀察は鋭い

會場には事變と四ツに組んだ建設戰の有様が十數箇のヂオラマや大寫眞で展示され、誰にもわかる說明書で巧に陳列されてゐる、わが子を失つた南京戰もある、夫をさゝげた長城の戰ひもある、そして徐州へ徐州へ軍馬も鳴く大縱列の場面を再生してゐるのだ、懐しい川岸兵團長の雄姿、長尾山の名を殘した長尾大尉のありし日の面影、さては郷の熊谷部隊長の生きてゐる顏々、いづれも五年前の感激のまゝだ

さすがに思出が深いが北支戰場の戰利品陳列場前は大きな人の波だ『あれがチエツコ機關銃だつたのか』忘れ得ぬ恨みにあの日を瞼に浮べて見物に混つた在郷の勇士はひとりうなづく、大東亞戰への發展を示す壁畫説明も物の見事に出來上つて、居ながら事變の全貌が摑める本社が畢生の努力を拂つて百萬府民に贈つたこの『事變展』はゆくりなくも銃後府民の歡迎をうけて正にその人氣は沸騰點に達したといへよう【寫眞＝事變記念展】

スパイをスパイせよ！

十三日から國民防諜强化週間

打續く敗戰の窮目に喘ぐ世界の敵米、英の最後の手段はスパイ戰にある、機密、官廳、謀略銃後の戰線は細心の注意をもつてスパイの魔手に臨まねばならない、總督府警務局では國民防諜の强化徹底を期するため來る十三日から一週間全鮮一齊に〝戰時國民防諜强化週間〟を實施、座談會、講演會等を開催し防諜の趣旨普及徹底を見ることゝなつたがこれに先立ち古川總督府保安課長が〝國民防諜に對して〟と題し來る十日の常會に向けて中央放送局のマイクを通じて全鮮愛國班員に呼び掛ける外十三日から次ぎの日程により週間行事を行ふ

▲十三日＝內務省 講演中繼

▲十四日＝聯盟防衞指導部主催防諜座談會（午後七時三十分）

▲十五日＝家庭婦人向（鮮語）放送（午前九時三十分）

▲十六日＝中井朝鮮憲兵隊司令官（午後七時三十分）

ラグビー代表に早大

【東京電話】滿洲建國十周年慶祝東亞競技會に出場の日本ラグビー代表は日本ラグビー協會で詮衡の結果早大軍を推薦することに決定した

一千名を收容して 自動車の訓練

中央機甲大訓練所 盛大な地鎭祭

戰に備へる銃後戰士の錬成のため機械化國防協會朝鮮本部では機甲訓練所の設立を急いでゐたが、愈よ京城府淸凉里町近郊隣十里に建物敷地坪數七百五十坪、訓練場一萬坪の彪大なる中央大訓練所を設置することゝなり七日午前九時松原本部長、三浦少將、朝鮮軍原地大佐出席、盛大な地鎭祭を擧行した、同訓練所は本館、宿舍、講堂、參考館、油庫からなり常時收容人員百五十名で本年秋までには竣工する、當分は主として自動車訓練を主眼とし學生一般青年に呼びかけるものであるが將來戰車、砲などの兵器取扱ひ等の訓練も行ふ筈で本年度は大學專門學徒六百名、京畿道內中學生二百名、中等國民學校職員百二十名、地方青年指導者五十名計一千名の訓練を行ふことになつてゐる

卅部隊土俵開き

朝鮮第三十部隊では訓練のため兵隊さんが土運びを行ひ見事な土俵を造りあげたので事變記念日の七日午前八時半から部隊長以下全部の兵隊さんが集つて土俵開きを行つた、剛主出身の兵隊さんが祝詞をあげ厳かな神事を行つてのち各隊選拔の兵隊さんが土俵に飛びあがり、肉彈にかけた敢闘を繰展げ正午過ぎ終了した【寫眞＝土俵開き】

〝戰ひつゝ肥れ〟

支那事變記念講演會

支那事變勃發してここに五年、大東亞戰爭の赫々たる戰果のうちに意義深き五周年記念日を迎へた、この記念すべき皇軍に意義づけるため、總力聯盟では七日午後七時半から府民館で〝支那事變記念講演會〟を開催、支那事變の意義を闡明し、更に銃後國民の覺悟を喚起した、會はまづ國民儀禮にはじまり滿堂の拍手に迎へられ、御手洗總督府部長登壇〝戰ひつゝ肥る日本〟と題し

『この戰爭は英、米帝國主義から日本を解放し、世界新秩序を建設するといふことは今日では最早何人も疑ひません、しかしこれを我が國の物の角度から見ると戰ひつゝ肥る資源戰であり、經濟戰爭であります』

と冒頭し、如何に我が國が戰時的經濟的に飛躍發展しつゝあるか、また如何に米英が國力を消耗しつゝあるかを說き來り、說き去り堂々一時間十五分、明日の銃後の覺悟を强調し、聽衆に多大の感銘を與へ、ついで朝鮮軍高橋參謀長は『事變記念日を迎へ軍の決意を述ぶ』の題名をひつさげて登壇『世界千年の運命を決するものこそ今次大東亞戰であり更に大東亞戰は遠く五年前の本月本日蘆溝橋に口火を切つた支那事變に源を發してゐるのである故に大東亞戰爭の終結は支那事變の解決なくしては得られぬもので あり實に支那事變の解決こそ世界新秩序建設の第一歩である』と力强く支那事變の性格を闡明、更に軍の決意を凛々として一時間に亘り述べ滿堂を感壯せしめ、終つて古市京城府尹の先唱で皇國臣民の誓詞を齊唱、山本道聯盟事務長の發聲で天皇陛下萬歲を三唱し意義深き記念講演會の幕を閉ぢた【寫眞＝御手洗社長の演說】

遞信從業員詩吟大會

支那事變五周年記念遞信從業員詩吟大會は七日午後六時から同事業會館で開催、盛澤山な詩吟、劍舞、ニュースなどあつて同九時閉會した

南方現地報告大講演會

日時＝七月九日（木）午後七時半

會場＝京城府民館大講堂

一、講師 南方より歸りて 京城日報南方特派員 村岡豐氏

一、映畫 日本ニュース（最近着）文化映畫

入場無料 但し場內整理の爲め金十錢申受く

主催 京城日報社

無敵皇軍を讚へる會

京城府及び本社主催の野外大演奏會〝無敵皇軍を讚へる會〟は支那事變記念日を彩り七日午後四時から京城グラウンドに數千の聽衆を前に繰展げられた、國民儀禮の後本社御手洗社長の挨拶に次いで古市京城府尹の挨拶あつて演奏に入りプログラムは梨花女子專門學校生四十名の大合唱に始まり、京城吹奏樂團の勇壯な行進曲は支那事變記念日にふさはしく城東の一角を壓し詰める聽衆を魅了した、次いで羅英麗樂劇團の歌謠劇に時を忘れ同六時感激のうちに記念すべき野外大演奏會の幕を閉ぢた

全日本陸上 十一、二日開催

【東京電話】全日本ならびに陸上競技選手權大會は十一、二の兩日大阪中モズ競技場で擧行されるが、この大會は今夏新京で行はれる滿洲國建國十周年記念東亞競技會に出場する陸上競技日本代表選手を決定する大會なので、參加者は關東、關西大學第一線をはじめ日本陸上選手が殆ど參加し名實ともに本年度陸上競技會の最高峰を行くもので熱戰が期待される

瑞典選手、二哩レースに世界記錄

【ストックホルム三日同盟】スエーデン長距離界の雄グレダ・バッグ、アデルネ・アンデルソン兩選手は三日當地オリンピヤ・スタヂヤムで行はれた二哩レースでともに世界新記錄を樹立した、バッグの新記錄は八分四十七秒八、アンデルソンの記錄は八分五十一秒四でマキ（フィンランド）の世界記錄八分五十三秒を破る大記錄である

征けノ　ウンシンドンまで

支那事變記念週間

〝肩を並べて　兄さんと今日も　學校へ行けるのは兵隊さんのおかげです〟子供たちの聲が明るい空に高くはずんで、空罐を持つて、古新聞を小わきに抱へて聲をふり〳〵校門をくゞつてゆく

〝先生お早うございます〟〝あゝ、お早う〟答へた先生の兩手にも空罐がぶら下げられてゐる、眩い夏陽が罐にはね返つて子供たちの瞳に明るく翳を映した〝きみ、いくつ？〟

〝僕二つ、君はいくつ〟〝ふうう、三つ、すごいね、六つもあるよ〟〝うん、この間叔母さんがお土産にくれた罐詰のからなんだ〟〝ふーん、僕の叔母さんも持つてきてくれないかな〟〝勇ちやんは―や、英語の本やないか〟〝うん、大學の兄さんがもう英語の本はいらないから獻納してしまへつてくれたんだよ〟

子供たちは口々に收穫を得意氣に云ひ合ひながらぞろ〳〵列をつくつて、本館と別館の廊下にある三つの廢品回收箱へ、持つてきた廢品を投げ込んでゆく、大詔奉戴日の八日朝、京城元町公立國民學校の兒童たちが校庭に描く廢品回收の可憐な赤誠譜である

〝僕、ゆうべすごい夢見たぜ〟〝五郎ちやんのすごいてのは口ぐせだからな〟〝ちえツ、いやだなあ、ほんとにすごいんだぜ、ゆうべ枕もとに罐とい持つて來た空罐を置いて寢たらね、いつの間にか大きな野はらを步いてるんだ、そしたら持つて來た空罐が急にむくむくつと大きくなつたものだから、あれーと思つてるとそれが飛行機になつたんだ、僕が乘るとすごい勢ひでぶーんと走り出したんだぜ〟

周りにゐた子供たちがうん、うんと頷きながら膝を乘り出した〝下を見ると、なんとかシャン列島なんだ〟〝アリユーシヤンだよ〟〝アリユーシヤンだ、アリユーシヤンだ、島だらけでね、その上に アメリカの兵隊がうようよゐやがるんで、ダヽヽと機銃で射つてやつたら、パタパタと倒れやがんのさ、氣持よかつたぜ、さうすると向ふから飛行機が千機ぐらゐ飛んで來たから、よしみんなやツつけてやらうと思つてその中に突つ込んだら―お母さんに起こされて、目をさましちやつた〟〝惜しかつたなあ〟〝惜しかつたなあ〟

子供たちは本當に惜しさうに拳を握りしめてゐる、廢品回收の子供たちの夢は、遠く遠く北に、南に飛んで米、英と闘つてゐる、同校では昭和十二年七月七日、盧溝橋に今次聖戰の火蓋を切られるや、父を、兄を、戰線に送り出した兒童たちは、『兵隊さんのために獻金をしませう』と申合せた、先生に敎へられたのではなかつた、父兄にいはれたのでもなかつた、兒童たちの眞實な心が嬉いながら大きな歷史の步みを知つて自ら申合せたものであつた、それから『私たちの赤誠をお國に捧げませう』と書かれた標語が校內のそこ、ここに貼り出され、每月六年男女生徒たちは學用品代や小遣錢を節約して月四回づつの一錢獻金をはじめた、やがて五年生がやり出した、つゞいて四年、三年、二年、一年といふやうに、幼い愛國の眞心は燎原の火のやうに全校にひろがり遂に一千二百名の全校兒童たちが一齊に一錢獻金をはじめた、これを知つた當時の校長土生來作氏（現京畿道視學）以下卅四名の職員もこの子供たちの赤誠にうたれて〝一つわれ〳〵も加へて貰はう〟と月初めから一錢づつ割いてそれに加へるやうになつた

〝貧しき子に敎へられると實にこの事ですよ、當時は未だ一錢が銅貨だつた頃で、每月五、六千枚づつの銅貨を重要國部まで持つて行くのが重くて、重くて向うへつくと肩がぬけさうに痛かつたものです、しかしその重さが痛さが尊く有難かつたと覺えてゐます〟

愛國班係の先生は、思ひ出をいとほしむやうに顏をさすりながらさう語つた、この一錢獻金を知つた父兄は我が子の眞心に深く打たれ今度は兒童たちの一錢獻金を十錢にくり上げさせて欲しいと申出て來た、このやうな美しい愛國の至情の中で敎へ導かれた兒童たちは、先生方に戰爭に無くてはならない金屬類の大切なことを聞かされると直ちに空罐等の回收をはじめた、道を步いてゐても折釘や空罐が落ちてゐるとすぐ拾つた、家庭に出た廢品は取りまとめて學校へ持ち寄つて來た

▲昭和十二年度は＝總額二百六十五円六十五錢▲十三年度は＝三百四十四円七十六錢▲十四年度は＝三百五十五円六十九錢▲十五年度は＝九百廿九円一錢▲十六年度は＝二千八十六円六錢總計＝四千三百九十八十一円十七錢を國防獻金として京畿道廳に差出し

その可憐な赤誠は當局をいたく感激させたものだ、昨年十二月八日の大東亞戰爭勃發以來、更に海軍機獻納を目ざして第二次の『私達の赤誠』をはじめ、既に積立金は五百円を突破した

〝純一無垢な子供たちは一たび御國の爲にといふことになると實に大人の考へ及ばないやうなことをやつてのけます、そしてこちらから何も敎へなくても自ら進んで赤誠を披瀝してくれるのです、次代を背負ふ子供たちのこの有様を見て私はいつも限り無く伸びて行く日本の偉大さを想ひ、ほんとに頼もしく感じて居ります〟

平田校長は机上に山積した感謝狀を前にして力强くかう語つた

【寫眞＝元町國民學校の誇り國防獻金感謝狀と兒童らの廢品回收】

廢品回收と獻金

學童の胸に赤誠の焰

彈丸切手百萬圓

けふ第二回の賣出し

去る六月の大詔奉戴日の佳日を期して賣出された彈丸切手は好評裡に忽ち賣盡され二十日の抽籤により數多くの幸運の當籤者を出したが、さらに七日の第七回大詔奉戴日から十五日まで第二回百萬円が賣出されることになつた、今回も前回同樣二円券のみで賣出日から五日目の二十日には抽籤が行はれ一等千円以下各等當籤數は全額四萬四千餘に上る見込である

話題 特急

☆…京城下往十里町九四敎員寮松原龍順さん（こ）は日頃から夫の喜三郎さん（ヨ）＝假名＝の素行が納まらず夫婦喧嘩の絕え間がなかつたが折も折、既報の梶村敎員殺し事件本の創造したインチキ療治の特配があつた二日の夜

☆…例の通り喧嘩の末は女房龍順さん一杯ひつかけた酒が悪酒だつたからたまらない、この喧嘩ケリもつかぬ中に翌三日の午後七時龍順さんあの世へ

☆…龍順さんの母親新堂町九六崔山夏順さん（ヨ）は、てつきり夫の喜三郎が娘を毒殺したものと東大門署へ訴へ…

明日をも知れない重態に陥つた

內地產砥石ノ查定ニ付テ

曩ニ朝鮮總督府告示ヲ以テ內地產砥石ノ查定ヲ行フ樣ニ相成居ル處若シ查定ニ受ケザル場合ハ七月一日ヨリ公定價格ノ三〇％引キト相成居ルニ付至急左記要領ニ依リ查定ヲ受ケラレタシ

記

一、品名 內地產砥石

二、販賣告示番號 昭和十七年五月二十七日朝鮮總督府告示第八〇二號

三、查定開始月日 昭和十七年七月八日午前九時ヨリ

四、查定場所

五、注意事項

日用品部內地產砥石科假事務所 京城府南大門通三ノ二八 西松金物店 電話(2)八七四番

訃告

弊社技師近藤誠行 同安藤松一 同足見倘俊 副參事多田義正 技師井藤久夫 同藤田孝郞儀先般軍屬として南方派遣の指令を受け勇躍壯途に就く…幸五月八日東支那海に於て遭難戰死仕候…就而七月十日午後一時より東京築地本願寺に於て社葬執行可致候 …御通知申上候

昭和十七年七月八日

東洋拓殖株式會社 總裁 佐々木駒之助

京城版

きのふ"事變五周年記念日"
『日本は何故強いか』
倉茂軍報道部長　京畿高女で講演

支那事變五周年記念日を迎へて京畿高女では七日午後一時倉茂軍報道部長を招いて『日本は何故強いか』の講演を聴いたが、國民儀禮に續いて倉茂部長は先づ『銃後國民は支那事變の性質に目的をしつかり認識して一致協力、大東亞戰爭を完遂するやうお互ひに覺悟を改めることが大切である』と前提して

『帝國が事變に起ち上つたのは自存自衞のためであり敵國の間違つた考へを改め直してやるためである、而して支那事變は大東亞戰爭の前衞戰であり序幕である、次に日本はどうして強いかと云へば日本の軍隊は陸海空軍が協力一致してやるからである、日本ほど軍隊が一致團結して戰ふ國はない、それは我が國が世界無比の國體であるからである、また我が國では將來の事をよく見透して作戰計畫をたてる理窟を云はず實行第一主義をとつて來たのである、要するに戰爭に於ては精神力が最も大切である』と説き次に女性の問題については時に時局下朝鮮婦人の自覺を促し職員生徒一同を感銘させて二時散會した【寫眞＝乙女たちに時局下の心構へを説く倉茂軍報道部長】

壽松國民學校　兒童の赤誠

支那事變が勃發してから早くも五星霜の記念日を迎へた七日、壽松國民學校には兒童の眞心から捧げる獻金八十三円六十五錢、慰問袋四十五箇、酷熱下に活躍する皇軍將兵さんへ感謝の意をこめた千餘通の慰問文や圖畫、繪入慰問文が集まつた

思ひがけない純眞な學童の赤誠に感激した野中校長は早速廿名の生徒を代表に選んで職員引率の下に同校管内廿九軒の遺家族を訪問して慰問袋を贈り心から遺家族を慰めたが、近く傷病者の慰問も行ふ筈である

記念日を飾る　街の佳話

七日正午頃東部出張所を訪問して係員に何事か頻に尋ねてゐる乙女があるので興味を持つた三井所長が呼び入れてその事情を問ふと、この婦人は城北町六二河村眞燮氏三女珠子さん(二〇)で輝く支那事變五周年記念日に東大門署を通じて十円を陸海軍恤兵金として獻納しての歸りがけ聯て話に聞いてゐた北支で名譽の戰死を遂げた軍屬故鄭江浮雄氏の家族をぜひ訪れて心からなる慰問を行ふべく新設町に行つたが、その居宅が解らず尋ねあぐんで同出張所に聞き合せのため立寄つたのであつた

この優しい心根に忽ち感激した三井所長は多忙の中から寸暇を割いて珠子さんの案内役を自ら引受けて、態々新設町三二一の主なき家に殘る未亡人滿子さん(三四)方まで伴つて行つたが、この思はぬ力強い協力者を得て喜んだ珠子さんは早速未亡人滿子さんに面會、心ばかりの慰問金五円を贈つた上、女は女同志の温い心で手を握り合ひながら優しい慰問の言葉をかけた

この情景を見た三井所長も共に涙しながら未亡人に代つて珠子さんに厚く禮を述べ、訪れる人も尠い河村珠子さんは現在京電電車課に乘務員監督補として精勵な勤務振りを示してゐる模範從業員で、昭和十二年事變勃發と同時に入社、爾來五年間事變下に育まれつゝ立派に社員の資格までも得た時局下らしい奮鬪娘だが、珠子さんの姉加代さん(三三)は目下赤十字看護婦として〇〇に出征中である【寫眞＝滿子未亡人を訪問した珠子さん】

勇士の遺家族を
『短歌』で慰問
第二高女の乙女部隊

聖戰記念日を飾る軍國乙女たちの床しい赤誠譜……京城第二高等女學校では四年以上の生徒たちが、"聖戰に因む和歌"六千首を作りそのうち優秀作品六十首を選んで八日の大詔奉戴日を期して一齊に管內に住む出征、戰歿勇士遺家族に贈り懇ろに慰問するが、優しい胸に燃える赤誠を秘めて作つた和歌には次のやうな傑作が多い

國のため二つのまなこささげたる勇士に臭ふ故郷の山、四年生中井和子さん、神にます父の寫眞にかげ膳をそなへて子等はかしこみてあり、四年生淸水百代さん、今日よりは遺兒と呼ぶ子を両脇にしつかと抱く母のをゝしさ、四年生木島千枝子さん

しながら未亡人に代つて珠子さんに厚く禮を述べ、訪れる人も尠い薄倖な家族に對する乙女の純情に東部住民を代表して更に深い感謝の言葉を傳へたが、當の珠子さんは少しも誇らず『戰歿勇士の家族をお見舞ひするのは私共の務めです』と多くを語らず、そのまゝ立去つた

"積善の家"に餘慶あり
市場商人の『明暗二題』

時局に便乘して、あたり構はず"賣つてやる"の驕慢な商賣人根性は統制經濟下の今日に於ては絶對に排擊さるべきである、經濟統制の商業道德や闇取引の撲滅に日夜努力してゐる西大門署經濟係に新商道の明暗二題を提げて訪れる

『京城の商人で一番大切なのは親切です、不親切の評判の高い商人に限つて闇を働くのです』と吉良經濟主任は新商道を標榜する端から京城商店街の顏に泥を塗る一部不正商人の横行に一矢むくいて言葉をつゞける

『當署の調査によると親切な店の一つは西大門市場内に店をもつ柏田義一氏の食料品店です、【寫眞＝店頭でお客の應對をする柏田店主】

店主の若夫婦の明るいサービスでお客がたとへ子供でも店員にまかせず、夫婦は愛想よく陣頭に立つて明朗な顏と親切な物腰で商賣を續けてゐる、本當に微笑ましい限りですよ、勿論附近の奧さん達もこの店でないと物を買ふ氣にならないといふ位ですから文字通り積善の家に餘慶ありです、西大門方面の模範商人ですね』

そこで『悪い店は?』と訊ねると『本當に時局柄どうかと思はれるのが案外大きな所にもあります、それは大切な百萬府民のお台所を一手に預つてゐる義州通の中央卸市場のことですよ、この市場內には仲介人といふものがをつて賣買の順序は先づ仲介人の手を經てから府內の小賣商人に配給されるのであるが、市場から仲介人に品物が卸される場合に小賣値で渡されるから小賣商人は自然公定價を守らずに闇取引をするのも無理からぬことだと思ひます、去る五月末ごろ內地から玉葱が大量に入荷しましたが、それが急に六月一日から値下げになることを知り前日の五月卅一日に品物の六割を仲介人に賣り飛ばし、あとの四割を府內の某支那料理屋に賣り拂つたため結果としては一般家庭への出廻りが鈍くなるわけです、以上の惡の事實が當署の取調べで判明したので、このほど同市場內の蔬菜鮮魚類の商人數名を檢事送局しました、かういふ結果をみたのは要するに監督の衝に當る人々の不注意と自由主義經濟思想からぬけきらない舊慣制の商賣人根性が未だに殘存する證據であります、これらに對しては今後も斷乎取締る肚をもつてをります

街の慰問袋
馬の酒井さん

"の日"なのだ、四月だけでも『俺んちの人參をウマく喰つてもらふことが出來ねえ』と酒井家で決めた愛馬の日の午前四時には早くも起出た酒井さんは人參のありさうな野菜屋を片ツ端から尋ね廻つて赤い人參の山を軒端にうづ高く積んで待機する"カッと照りつける灼熱の太陽の下に喘ぎながら小馬が來る、ヒヒ、ヒーンと一瞬張切つて酒井さんの手から人參をうまさうに頂戴する

…の人氣を一人でさらつた桜の永樂町の酒井市郎さん、七日は待ちに待つた年一度の『愛馬の日』

この日の通行は數百頭を下らなかつた、事變記念日に相應しい『愛馬の日』だつた【寫眞＝酒井さんと小馬】

獻金長期戰で御奉公
濱村さんの赤誠

給町三三請負業濱村玉之助さん(五…)は七日西大門署を訪れ金一千円を國防獻金として係へ差出し『私の子供は幼少のためお國のお役に立たず誠にお恥かしい次第です、その代りに私は今日から聖戰完遂の日まで國防獻金を續けて御奉公をする覺悟です』と愛國の熱誠を吐露全署員を感激させた

延禧專門學校で時局講話會

…日午前九時半から總督府情報課石本調査官を招いて伊東校長以下職…を祈願した

…を訪れた河村珠子さん＝中央が…所長

實戰宛らの演習
鍾路署管內の訓練行事決定

防諜週間

敵國の謀略を警戒して國民防諜思想を昂揚する"防諜週間"は來る十三日から一週間全國一齊に展開されるが、鍾路署の訓練行事が六日左のやうに決定した

▲第一日(十三日)官公署、會社、學校などの團體首腦者が集つて午前中は京畿道で講演をきゝ午後は署主催で具體的な防諜實地指導をうける▲第二日(十四日)各防諜團幹部が持場で防諜徹底をはかる、特に重要建物では一層の訓練をとげる▲第三、四日(十五、六日)主として官公署、會社、工場を拔打的に署員が監督して門衞の心構へや、機密を要する書類の始末に對して試驗する▲第五、六、七日(十七、八、九日)敵の謀略行爲を假想して訓練を行ふが、その方法として警察部を攻擊隊とし防禦班を官公署、會社、學校、工場などとして謀略班になし、防禦班を官公署、會社、學校、工場などとして實戰そのまゝの謀略擊退戰が展開されると、鍾路署員が搜擧に乘り出し防諜防衞演習を行ふ

この外週間中には管內の要所々々に宣傳塔、懸垂幕を設ける更に交叉點の電車通りには防諜標語を電線に繋いて掲げ、百貨店をはじめ店の窓にも防諜標語を掲示し派出所、映畫館では防諜思想昂揚の放送を行ひ、署員は紙芝居行脚をして民衆に呼びかけるほか座談會も開催十六日には理髮業組合防諜團を結成するが、この行事の完遂を圖るため七日午前九時から各町總代、區長が署に集合して打合會を開き常會での防諜指導方法を練る

管內指導階級の奮起を促す
城東署で防諜打合會

七日の事變記念日を期し城東署では近づく防諜週間に備へて午後二時から管下各官公署長、公私立中學校長、國民學校、私立學院長その他主要會社長を招いて署內で國民防諜に關する打合せを行つたが佐々木署長はこれらの指導階級に對して時局下切實な民衆指導の上に實績を示されんことを要望した

防諜週間に嬉しい贈物
永登浦演藝館主の美擧

來る十三日から實施される防諜週間を前に永登浦演藝館主太田さんは『私も何か一役……』とたまたま同館八周年記念日が防諜週間とかちあつたので折もよし一つ產業戰士を慰ふと共に"防諜する心"を涵養するため『產業戰士慰安防諜映畫會』を無料で提供したい旨永登浦署に申出たので同署でも我が事のやうに喜び、この旨直ちに各工場に傳へ連日汗みどろの敢鬪を續けてゐる產業戰士たちを感激させてゐる

"アイゴー"も懲罰
國語常用に西大門署員が妙案

西大門署高等係では吉良主任が監督して同係職員たちに公私を問はず國語で通すやう從還してゐたが、平山部長刑事が去る廿六日妙案を考へ出して實行、府內各署に魁けて非常な好成績をあげて署內は擧より各署職員に範を垂れた

つまり署內で執務の際は假令無意識にせよ朝鮮語若くは英語等を使用した場合は、それが單語であつても一回につき金十錢也を徴收することを決議し實行してゐる

その結果、從來は內鮮職員が"アイゴー"とか"ナツプン"とか英語では"サービス"とか"スローガン"等々の聞き憎い言葉が得々として交されてゐたが、爾來これらの雜語類が綺麗に一掃された、積立てた罰金はそつくり國防獻金にするといふ

聖戰記念日の國防獻金

西大門署へ
聖戰記念日の七日西大門署へ寄せられた赤誠の花束……

▲金四十円、義州通二ノ一七五酒類小賣商金岡達英さん▲金廿円、中林天主教會信徒一同▲金十四円、蓬萊町四ノ二一八萬里峴教會信徒一同▲金八円並に金屬類四點、峨底町四九西村ソトさん

鍾路署へ
聖戰五周年記念日の七日、鍾路署へ殺到した獻金部隊……

北部仁寺町第四區愛國班員一同百円▲大東商業學校職員生徒一同、四百廿二円六十錢▲宗橋會理教會(代表卞鴻圭さん)十五円▲漢城協同組合員一同、十円▲光州白雲町三七一松田重信さん廿円▲瑞麟町九二任田進作さん五十円▲通義町鍾路防團第二分團(代表張萬鎭さん)卅円▲鍾路二丁目中央基督教青年會(代表興家滋玉さん)十四円五十錢

本社へ獻金寄託
本町二丁目三番地三吉酒店主香月五郎氏は事變以來しばしば獻金をつゞけて來たが、五周年記念日の七日陸、海兩省へ百五十円宛計三百円を本社を通じて獻金した

中越淸猛氏
京城府主事國民總力課町會係長中越淸猛氏(三〇)は動脈硬化症のため六日午後三時半逝去、七日午後五時半から長沙町妙心寺で葬儀を執行した

愛の赤道【147】
竹田敏彦（作）
都竹伸一（繪）

首途の決算（四）

やがて、二郎は、眼を開いて用紙の上に注いだ。そして、

『遺言狀』——

男らしく認めた。焙くやうな烈日の下に、血に染つて斃れた我が死顏が、はつきりと、瞼に描かれた。

その時、ふと、ダバオで別れた佐智子の顏が、杳かな夢に咲く花のやうに、眼に泛かんだ。同時に、

『もしこのことを、あの佐智子が聞き知つたら?……いや、丸山が聞いたとしても』

二郎は、はつとして、筆の先を眺めた。がその時、次に泛かんだ幻影は、同胞の生命を賭つて、殘虐鬼畜の如き米兵の機關銃に斃れた克彥の最期の姿だつた。

『さうだ！天のみは知る！』

二郎の瞳は、靜かに輝いて再び用箋の上に注がれ、墨汁をふくんだ筆の先が、次の行に運ばれた。

一、大槻千鶴子が目下懷妊中の胎兒は拙者の胤に相違無之、右は既に拙者の母子として認知せる通りなり。

一、該胎兒出生すれば、拙者の家督相續に遺產を相續すべきこと論を俟たず。但し右遺產の內より現金壹萬円也は之を分割して、千鶴子に贈與す。

一、該胎兒出生後は、千鶴子を其の後見人とす。千鶴子は之を後見すると共に、其の養育の任に當るべし。

一、將來、千鶴子にして、もし緣談其他の事情により、其の養育に支障を生じ、千鶴子自ら之を認めたる場合に限り右後見役に養育の任を解くべし

一、前記の場合といへども、既に千鶴子に贈與せし壹萬円の遺產は、依然として、同女の所有に屬し、斷じて返還の要務無きものとす。

一、該胎兒、死產或は出生後死亡の場合といへども、前記現金壹萬円は、依然拙者の遺產として千鶴子に贈與するものなり。

二郎はこゝで一應筆を止め、最初から、二三度繰返して讀んだが すぐその次に、

右の通り拙者の遺志を認めて、殘りなく執行されんこと、堅く申し殘し置き候

昭和拾七年壹月貳拾九日
目黑區衾町××番地
大槻二郎

日附と氏名の他に、住所まで書き添へて、力強く捺印し、もう一度、最初から繰返して讀み終ると丁寧に折疊んで、傍に備へ付けた封筒に入れ、入念に糊をつけて、嚴しく封をした。

そして、隣室へ歸つて來ると、

『お待たせしました……この中に封入しておきました』

松川公證人の前へ封書を示した。

公證人はそれを見ると、

『それでは！お兄さんだけは、別室の方で、お待ち願ひます』

かう云つて、恭輔を去らせ、よく封じ目を調べてから、

『では、封印をしてください』

二郎が封印を終ると、

『これはあなたの自筆の遺言書に相違ない旨を、改めて私に御口述願ひます』

『在中の證書は、拙者の遺言證書に相違ありません』

『住所氏名は?』

『東京市目黑區衾町××番地大槻二郎』

『よろしい』

松川公證人は、裁判官のやうに二郎の口述をそのまゝ封筒の上に記載して、日附を書入れ、自ら署名捺印すると、次いで二郎、續いて二人の證人が、何れも、その封筒の上に、署名し捺印した。

それが終ると松川公證人は、ほつとしたやうに、

『これで方式は整ひました……ところで、この保管は、誰方がなさいますか』

二郎に訊ねた。

『御面倒ですが松川さんあなたにお願ひいたしますひ』

『さうですか……では確に』

と、松川公證人は再び嚴かな表情で封書を取上げた。これで二郎の遺言は完全に殘された。

ラヂオ（八日）

朝　五・三〇その朝の感激▲六・〇〇大詔奉戴日體操大會▲六・三〇（城）大詔奉戴日常會の時間『講話』國民總力朝鮮聯盟總裁 小磯國昭▲八・〇〇朝禮訓話子爵岡部長景

晝　▲〇・三〇合唱日本放送合唱團▲一・〇〇朗讀『麥と兵隊』（二）上田放送員▲一・三〇明るい生活開末代集▲二・〇〇軍事講話"戰果の蔭"近藤眞男▲二・三〇（城）朗讀（鮮語）"精神の勝利"孫本放送員▲四・〇〇模型航空機教育講座 關口隆克

夜　六・〇〇シンブン（城）『陣中で感激したお話』福永恕▲六・二〇大陸の譜▲七・三〇（城）總力回覽板『七月の巻』青山伸伍ほか▲八・〇〇（城）總力回覽板（七月の卷）（鮮語）里見浩他▲八・三〇（城）初步國語講座▲九・〇〇歌謡組曲『祭り』歌上艶子他▲一〇・〇〇南京より（錄音）

夕刊
京城日報
一部一錢　定價金二圓

決意新たに事變五周年

和平陣營參加 五十を突破
武漢周邊 二ケ月の戰果

【漢口六日同盟】中支軍發表 最近二ケ月における武漢周邊地區の戰況左の如し（今次江西作戰を除く）

軍は五月初旬有力部隊をもつて新第百二十八師主力を汚陽附近に殲滅、六月中旬更に精鋭部隊をもつて沙市南方約六周邊地區に侵入せる第百十六師等第一師などを掃蕩撃破、二千回におよぶ大小出動を敢行して敵抗戰力を撃推治安上著しき効果をあげたり、兩月間敵第一線部隊ならびに敵軍首腦にして抗戰に離脱し和平陣營に參加を申出で來るもの既に第十五支隊長以下五十を數ふるに至れり、五、六月における綜合戰果左の如し

敵遺棄死體二一六五八、捕虜三四二、鹵獲品迫撃砲二、重機關銃一八、小銃七五六、擲彈筒六、彈藥八六九

大前に赤誠の祈り
けふ、全鮮を擧る感激

めぐり來つた支那事變第五周年記念日—この日 兵站基地半島のたゞずまひは街も村も山も島も朝來戸毎に日の丸の旗を掲げて己がじし過ぐる五年前の〃この日〃に還つてその緊張と決意とを更に鐵石たらしめたのである、京城ではこの朝八時半小磯總督、田中總監、磯田駐朝大將、李鍝公李王職長官をはじめ官民代表一千名が恭しく朝鮮神宮の大前に參じ、玉串を奉奠して國威宣揚武運長久祈願祭を潑剌嚴肅の裡に行へば府下の愛國班員、各學校、聯盟、男女青年團員、大日本婦人會員など内鮮の赤子がひきも切らず聖域の玉砂利に額づき大東亞共榮圈確立の磐石心を固めたのである 朝鮮軍司令部では板垣軍司令官以下が軍司令部構内に參集支那事變記念式を擧行して北邊の護り彌固きを示したほか、京城では本社主催〃無敵皇軍を讃へる會〃（京城運動場）並びに〃事變記念演奏會〃（府民館）をはじめ大講演會（府民館）支那事變記念展覽會など支那事變發生記念日を飾る各種の行事が盛大に開かれ支那事變に對する認識を新たにしたのである

千餘名の拍手
朝鮮神宮の祈願祭

七日朝陽が南山の峰にたゆたふ頃おほらかな朝の冷氣を衝いて朝鮮神宮の神域は米英擊滅、聖戰完遂の決意を胸に玉砂利に額づく敬虔な人群で埋つた、この日五度めぐり來つた大東亞戰下初の支那事變記念日神宮大前には兵站基地朝鮮を擧げての國威宣揚武運長久祈願祭が小磯總督、田中政務總監をはじめ軍官民一千名參列の下に嚴かに執り行はれた、午前八時卅分モーニング姿に威儀を正した小磯總督は手を清め口を漱ぎこれもモーニング姿の田中總監と共に着席、式は奏樂裡に獻饌、細貨宮司の祝詞奏上と進み、玉串を捧げた總督はたゞ一人靜かに神殿深く參進、深く頭を垂れた、やがて總督の嚴かな拍手の音に和す千餘の參列者の打つ拍手は米英必滅の響きとなつて神域の冷氣をふるはした

次いで田中總監の玉串奉奠あり親任官代表中樞院李家副議長、波田總務總長、文官總代鈴川司政局長、武官代表倉茂軍報道部長、道民總代高安彦、京城府民代表古市府尹等の玉串奉奠終つて撤饌、退下を以つて式を終つたが

朝來からの參拜者の群は或ひは愛國班旗をかゝげ、學校旗あり、會社、團體あり、在城部隊將兵の敬虔な捧げ銃あり、この日の朝鮮神宮は引も切らず玉砂利を踏む人が流れとなつて續いた

木魚に靈の冥福
太古寺佛徒の法會

支那事變五周年記念日の輝かしい七日半島の佛教々徒にも今日の感激の赤誠はこゝに凝つて曹溪宗總本山に支那事變戰歿將兵慰靈祭法要は午前十時半から京城壽松町太古寺で開かれた、惠化專門、明星女學校、一般信徒等千餘名が法衣に身を浄めた僧侶達に導かれ供物に飾られた佛壇の正面に着席、宮城遙拜、默禱を捧げて大雄殿を靜かに流れる木魚の音に合せて祖國に殉じた英靈の冥福を黙禱、獻茶に次で權田宗務總長が表白文を奉讀次で五分香供、僧侶は參列者の襟を正させ、祭文を田雨運師が恭しく奉讀、焼香が粛々として立ちこめる裡に更に回向文を奉讀して大東亞戰爭完遂への覺悟を固めて法要を終つた

北邊の護り、誓つて固めん
朝鮮軍司令部式典　板垣軍司令官から訓示

支那事變五周年記念日の七日を迎へ北邊の護りに厳たる朝鮮軍司令部では構内廣場に高橋參謀長を初め幕僚各部長以下全員參集し先烈の遺勲をしのぶ事變記念式を擧行した、この日午前九時勲一等功二級を胸間に輝かせた板垣軍司令官を迎へ全員敬禮の後宮城遙拜に續いて板垣軍司令官は事變一周年記念日に際し陸海軍人に賜りたる勅語を奉讀、次いで軍司令官は力強い語調で別項の如き訓示を行ひ同九時廿分式を終つた、正午から各部代表は三角町東本願寺と大念寺に安置する戰友の英靈に參拜した

軍司令官訓示

茲に支那事變五周年記念日を迎ふるに方り事變を回顧し所懷を述ぶるは本職の欣快とするところなり、顧みるに、昭和十二年七月七日蘆溝橋に端を發したる北支事變は帝國の眞意を解せざる暴戾政權の頑迷と米英の策謀とにより擴大の一途を辿りて遂に大東亞戰爭の勃發となりて今日に及べり、この間年を閲すること當に五年、皇軍は御稜威の下支那大陸に將又大東亞諸地域に赫々たる戰果を收め武威を世界に宣揚し今や必勝不敗の態勢を確立するに至れり、然りと雖も重慶政權の迷夢未だ醒めず米英またその國力を傾倒して抗戰の一途に出づべきを以て最後の勝利を獲得するためには一億國民愈よ鐵石の團結を固め必勝の信念を堅持し國家の總力を擧げて戰爭の完遂に邁進せざるべからず、翻つて惟ふに朝鮮軍は事變以來或は北支に轉戰し或は張鼓峰事件に北邊の護りを全うし爾來朝鮮の防衛に專念し、大東亞戰下よくその重責を盡せり、然れども大東亞戰爭が歐洲戰爭と不可分の關係を有する現實に鑑み北邊に對する禍亂の波及は寸毫も油斷を許さゞるものあり、軍は倍々軍隊の精強をはかり防衛の完璧を期し如何なる情勢の變轉にも對處し得るの準備と覺悟とを有せざるべからず、諸士よろしく事變以來の先烈の遺勲を偲び本職着任以來の訓示を體し各々その職責を盡してその本分を全うせんことを期すべし

昭和十七年七月七日
朝鮮軍司令官　板垣征四郎

白衣の勇士慰問
臧議長一行入城第二日

京城訪問第二日の滿洲國參議府議長臧式毅氏一行は七日午前九時半宿舍朝鮮ホテルを出發自動車にて昌德宮に伺候、記帳ののち仁政殿、秘苑などを拜觀、終つて同十時四十五分龍山陸軍病院を訪れ白衣の勇士を慰問ののち正午ホテルに歸還、午後は一時半孔德里の志願兵訓練所を訪れ徴兵制準備下における半島青年の熱鍛の鍛錬を視察した、なほ臧議長一行は午後六時より總督官邸における小磯總督招待の晩餐會に臨む【寫眞＝慰問の臧氏一行】

國體の本義透徹　具體的施策へ
けふ定例局長會議　小磯總督の訓示

七日の定例局長會議は午前九時半から開かれたが、劈頭田中總監より

最近の朝鮮において贈答品のやりとりが著しく減少し昔日に比すれば全く面目一新された觀がある、然し統制經濟下の現象として下級官吏方面にあつて尚かゝる機會を利用して民間側から贈答あるやに聞いてゐるが、嚴重に警戒を要する、各位はこの點部下を充分監督されたい、次に今日の經濟現象が跛行狀態を示し物資の偏在を來してゐることに對しては朝鮮もまた狹を一にするが、朝鮮は經濟方面、警察方面が協力して改善すればこの弊を是正することは容易と思はれる、物資偏在の原因を究明調査しその實相を把握して對策を樹立されたい、最後に各位に課題として研究を希望しておくことは青少年の錬成問題である内地には内原訓練所があり、錬成の代表的機關となつてゐるが、同訓練所としてもなほ改善の餘地がある、朝鮮にも青少年の訓練機關が種々ある模樣であるが、更にその綜合的訓練機關を確立したいと思ふものであるこの點充分研究されたい』

と述べれば、次いで小磯總督は

『國體本義の透徹に關しては着任以來諭告、過般數度に亘る訓示等によつて各位の理解を得たことゝ思ふ、各位は私の念願する所を如何に具體的に施政上實現さすべきか、その方法論に關して充分研究されたうへ次回の局長會議までに政務總監の手許まで提出願ひたい、一たん口にしたことは斷じて行ふやう單なる思ひつきでなく充分検討されんことを切望する、また青少年の訓練機關については來るべき徴兵制施行の準備機關中に充分なる錬成を加へんとするものであるから同樣慎重考慮されんことを望む』

と約一時間に亘つて今後の施政方向を示唆する訓示を行つた、引續き出席各局長の主務事項の報告あり、午後零時十五分散會

鈴川司政局長　全鮮の邑面長三千三百廿六名の學歷、經歷、國語の理解程度に關して報告

新貝遞信局長　廿日に行はれる海の記念日の行事内容、六月廿二日から七月三日まで賣出しの國債は割當額五百萬円並びに追加額廿五萬六千円を全部消化した

信原勅任事務官　九、十兩月間鑛山聯盟主催により戰時鑛山增產強調期間を設定する

倉島情報課長　最近のインドの國内情勢について

伊藤勅任事務官　十七日奉天で大陸連絡協議會幹事會を開きその結果に基き今秋北京で本會議開催の豫定

水田財務局長　稅務、稅關長會議席上における出席各局長の發言中重要なる事項について

屠れ、米英流思想
本田秀夫

米英思想の東亞への跋扈は相當に根強く容易に抜き難いものがある。我日本人どもでも現在四十、五十代以上の人達ならば既に習ふが習ひ性となつてゐるほど、自らの腦中には米英流の物の見方、考へ方や、米英そのものをかなり高く評價せんとする思想が大なり小なりまだ〳〵殘存してゐることであらう。

しかしこれは數十年この方我國が進んで來た道が然らしめたものであつて、今更それをとやかういつて見ても仕方のない事實である。識者によつては、我國が何か非常に間違つた道を辿るべからざる道を選び來つたやうに説いて攻めつける人もある。だが、我等は米英から弊害も受けたが、同時に利得する所も多かつたのである。だから過去のことをかれこれ詮索だてするのはこの際どうかと思ふ。今までのことはさらりと水に流せばよいではないか。問題は一に今日の上にかゝつてゐるのである。いふまでもなく、今日は、外米内鬼、侵略搾取の本能をいよ〳〵露骨化し來つた米英から、我等が將に喰はれるか、反對にまた世界新秩序確立の爲にその惡鬼どもを我等が殲滅するかの瀬戸際である。我等は、過去と現在との區分を最も明確ならしめる必要に迫られてゐることと思ふ。今日ほど悪だしきはないわだかまりは、面目にこだはることなく、男らしく告白し投げ出してしまふに限る。

これは我國にとつて肇國以來の危急存亡の一大事であると共に、我等にしてもまた建國この方の一大異變事として、定めて上下死物狂ひのことであらう。正に乾坤一擲の真剣勝負である。我等は、

青年日本の運命を背負つて起つ眞の勇猛心は必ずや其處から湧いて來るものと信ずる

【筆者紹介　殖銀調査部長生え抜きの金融人である一般經濟に關する造詣が深い【寫眞＝本田秀夫氏】】

鮮鐵側優勝
鮮滿漕艇大會

【大連特電】第十回鮮滿漕艇大會は五日大連港内で擧行、午後三時閉會したが、鮮鐵對抗レース（一千米）は鮮鐵五分廿六秒（差一艇身半）で優勝した

―人―

◇美濃谷善三郎氏（國務院弘報處新聞班長）滿洲國參議府議長隨員として入城挨拶のため六日午後來社
◇北爪保雄氏（參議府民務科長）同上

ビルマ八地方長官を任命

【ラングーン六日同盟】飯田ビルマ派遣軍最高指揮官は六日軍政部において八地方長官の任命式を行つた、新任の八氏は古くより親日家として活動、東亞共榮圈建設に積極的に協力せる新進氣鋭の士である

サンドウエイ縣ウ・シユエ・ムラ、ペーク縣ウ・テイン・テハン、バセイン縣ウ・ラヘ、ヘンザダ縣ウ・チヨウデン、マウビン縣ウ・テヨウニアン、ピヤポー縣ウ・オン・シユエ、サ・ガイン縣ウ・ホサン、ミヨーンミヤ縣ウ・アウンカイン

なほ、殘る廿九縣も順次地方長官の任命をみることゝなつてゐる

時の録音

支那事變五周年。この日砲聲一發が大東亞建設への逞しい號砲であつたのだ。
×
蘆溝橋、大東亞、五年間を回想する時、感慨無量。聖戰の礎と散つた英靈を想へ。
×
大陸に南方に流した皇軍の碧血、この一滴の尊さ、それを思へば自ら國民の道は決るのだ。
×
五ケ年の偉大なる綜合戰果をみよ、世界戰史にみざるところ。皇軍の精强無比をみよ。
×
然もけふこの記念日に、わが將兵は炎熱を冒して作戰を遂行してゐるのだ。
×
この嚴たる事實を、國民よ眼にみよ、そして肝に銘せよ。
×
中戰に慈雨到る。增産だ。

聖戰完遂へ銃後の力強き祈り【寫眞左上＝朝鮮神宮祈願祭參列の小磯總督、田中總監（右上）朝鮮軍司令部の記念式（左下）＝壽松町太古寺の佛教徒法要】